

## はじめに

三重県では、平成26年4月から「みえ森と緑の県民税」を導入し、「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めています。これまでも、三重の森林づくり基本計画に基づき、森林環境教育の機会の増大を図ってきたところですが、この税の大切な取組の一つとして、さらに注力して森林環境教育・木育の推進に取り組んでいるところです。

本書は、平成29年度に県内の学校などで実施された森林環境教育・木育の活動事例について、学校などから提供いただいた情報をもとに編集したものです。学校などでの今後の取組の際に、本書の事例を参考にいただければ幸いです。

また、この税を活用して、平成28年4月から津市白山町の三重県林業研究所内に「みえ森づくりサポートセンター」を設置しました。みえ森づくりサポートセンターでは、森林環境教育・木育活動のコーディネート、指導者の紹介、出前授業など、森林環境教育・木育に取り組んでいただける皆さまのお手伝いをいたします。この事例集に関するお問い合わせを含め、森林環境教育・木育全般のご相談については、「みえ森づくりサポートセンター」へご連絡ください。

最後に、本事例集の発行にあたり、活動事例をご提供いただきました皆さまに厚く御礼申し上げます。

平成30年3月 三重県農林水産部みどり共生推進課

### 「森林環境教育」とは

「森林内での様々な体験活動等を通じて、森林と人々の生活や環境との関係についての理解と関心を深める」  
(平成28年度森林・林業白書)

### 「木育」とは

「子どもから大人までを対象に、木材や木製品とのふれあいを通じて木材への親しみや木の文化への理解を深めて、木材の良さや利用の意義を学んでもらうための教育活動」  
(平成28年度森林・林業白書)

「森林環境教育・木育」の取組み方の例

普段の授業や総合学習  
遠足やキャンプ、宿泊体験  
といった行事など

+

森林の持つ様々な  
はたらきについての学習  
森林資源（木材など）を  
利用した体験活動など

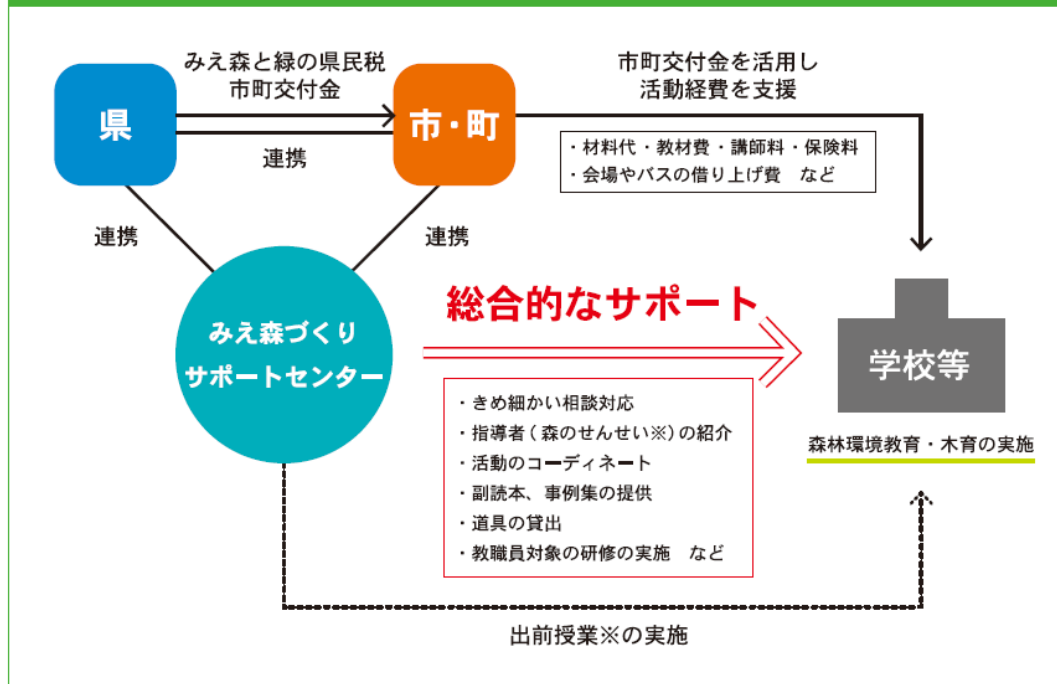
=

森林環境教育  
木育

## 「みえ森と緑の県民税」を活用した森林環境教育・木育について

「みえ森と緑の県民税」では、市町が地域の実情に応じて創意工夫して税の導入目的に沿った施策を展開できるよう、一定の財源を市町に交付する市町交付金制度を設けており、市町が小中学校などでの森林環境教育・木育に活用することができます。

### 市町交付金を活用した森林環境教育・木育実施の流れ



### 取組み事例

#### ①学校で実施できる事例

- ・森のはたらきなどについての座学
- ・クラフト体験や木工工作
- ・校庭の樹木の名札付け、自然観察
- ・学校林での林業作業体験 など

#### ②校外で実施できる事例

- ・県民の森や森林公園での森林体験
- ・宿泊を伴う体験活動での森林学習
- ・遠足での森林体験
- ・製材所等への社会見学 など

### ※森のせんせい

三重県では、学校や地域で森林環境教育・木育を行える方を「森のせんせい」として登録し、学校などに情報提供しています。情報の一部はホームページで公開しています。

### ※出前授業

市町交付金事業の対象外となる学校については、サポートセンターが森林環境教育・木育の出前授業に伺います。詳しくはお問合わせください。

※年間10校程度を予定

# 目 次

1. ふるさとの森とともに ～地域の森を知って地域に発信、さな板作り体験～ いなべ市立阿下喜小学校	5
2. 里山保全活動 ～四日市市少年自然の家にて～ 四日市市立小学校6校、中学校2校	6
3. 「みつけたの森」で何を見つけようかな？ 四日市市立塩浜小学校	7
4. 緑化活動を通して森のはたらきについて学ぼう 鈴鹿市立加佐登小学校	8
5. 木のあたたかみを感じよう ～カホン作り～ 鈴鹿市立椿小学校	9
6. 森の学校屋内編 ～木材とふれあう～ 亀山市立亀山東小学校、昼生小学校、野登小学校	10
7. 木に親しみ、木を楽しもう ～マイ箸作り・楽器遊び、滑車体験・積木遊び、丸太切り体験・コースター作り～ 津市立南立誠小学校、北立誠小学校	11
8. 三重の木でものづくり ～卒業記念フォトスタンド作り～ 津市立櫛形小学校	12
9. 林業体験学習 ～ぼくらの WOOD JOB!!～ 津市立芸濃小学校	13
10. 地域の産業を知ろう ～林業体験を通して～ 津市立みさとの丘学園	14
11. 木に親しみ、木を楽しもう ～木育体験と樹木観察～ 松阪市立柿野小学校	15
12. 森林の体験交流学習 松阪市立香肌小学校、宮前小学校	16
13. 小学生が創る宮川未来の森 ～林業体験～ 大台町立三瀬谷小学校、宮川小学校	17

<b>14. 森林のはたらきや木材利用について考えよう ～樹名板作り～</b>	
玉城町立有田 <sup>うだ</sup> 小学校	18
<b>15. 木で作ってみよう！ ～キーホルダー作り、丸太切りとコースター作り体験～</b>	
南伊勢町立南島西小学校	19
<b>16. 森っこ遠足 ～森林公園で学校の樹木の名札を作ろう～</b>	
伊賀市立神戸 <sup>かんべ</sup> 小学校	20
<b>17. 学校林わくわくプロジェクト ～コモコモ森の発見隊～</b>	
名張市立薦原 <sup>こもはら</sup> 小学校	21
<b>18. 里山の大切さを知る ～ウォークラリーで学ぶ里山～</b>	
名張市立桔梗が丘南小学校	22
<b>19. 命の山から学ぶ ～植樹、山と海の恵み～</b>	
紀北町立矢口小学校	23
<b>20. 森のはたらきを知ろう、県産材を使おう ～マイ箸作り体験～</b>	
津市立一身田中学校、南が丘中学校	24
<b>21. 森林をイメージしよう ～木育バスのラッピングデザイン制作～</b>	
三重県立飯野高等学校	25
<b>22. 木のおもちゃで遊んで・作って・学ぼう！</b>	
長島中部学童保育所レインボー、放課後児童クラブレインボー駅前	26
<b>23. 自分の箸を作ろう！ ～マイ箸作り体験～</b>	
大安中央児童センター	27
<b>24. 木のおもちゃで遊んで・作って・学ぼう！</b>	
川越町おひさま児童館	28
<b>25. 身近な植物を使った草木染め体験</b>	
くまのっ子学童クラブ、みはまっ子学童クラブ	29

# 01

## ふるさとの森とともに ～地域の森を知って地域に発信、さな板作り体験～

いなべ市立阿下喜あげき小学校



探究活動を進めるにあたり、森の健康診断出前隊の講師に、疑問に感じたことや分からないことを質問し、今後の探究活動の参考としました。



10月の授業参観日に、講師や地元の林業家を招き、学習内容を発表しました。12月には、さらに探究活動を行い、みえ子ども森の学びサミットで発表しました。

### ねらい

- ・ 阿下喜の森（人工林）の健康診断を通して、地域の森の現状を知り、地域の森に関心を持つ
- ・ グループ毎にテーマを決め、森についての探究活動を行い、その取組について全校児童や保護者、地域へ発信する

### 取組内容

地域の森の現状を把握するため、7月に学校林ほか2か所において、森の健康診断を実施しました。植生や土の状況、森の明るさ、木の混み具合を調べました。その結果、混みすぎていることが判明したので、それぞれの森で1本ずつ間伐体験を行いました。

2学期には、この取組を通して学んだことをもとに、いなべ市の森の現状と課題、森のはたらき、環境問題等についてグループ毎にテーマを決め探究活動を行いました。その結果を授業参観日で保護者や外部講師の方を招き発表し、その時のアドバイスを基に、さらに探究活動を深め、12月に松阪市で行われた「みえ子ども森の学びサミット」において発表しました。

3学期は、昇降口の下駄箱前のさな板（スノコ）が古くなったため、全校のみんなのために、自分たちが間伐したヒノキを利用して、さな板作りに取り組みました。

1年間を通して継続的に「ふるさとの森」をテーマに学習に取り組めたことで、様々な角度から森を捉えることができ、発信をするための準備は大変でしたが、達成感と自信が得られました。

### プログラム概要

内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森の健康診断</li> <li>・ 間伐体験</li> <li>・ さな板（スノコ）作り</li> </ul>	
時間	森の健康診断	7時間
	テーマの探究活動	10時間
	発表に向けた取組	8時間
	健康な森の見学（豊田市）	6時間
	さな板（スノコ）作り	5時間
場所	学校林及び私有林、教室、豊田市御内町地内の森林、視聴覚室、みえこどもの城	
対象	5年生 24人	
講師	森の健康診断出前隊 山造り研究所 鬼頭氏 豊田市林業家 鈴木氏 いなべ市大工 近藤氏	

# 02

## 里山保全活動 ～四日市市少年自然の家にて～

四日市市立小学校6校、中学校2校



### ねらい

- ・ 里山は人間が利用することで維持され、たくさんの生きものを育ててきたことを理解する
- ・ ノコギリの使い方、伐採の仕方を学ぶ
- ・ 伐採作業を実施することで里山保全の大切さをより深く理解する

### 取組内容

はじめに子どもたちは講師から里山についての話を聞きました。里山とは何か、里山は人の生活の中でどのように利用されてきたか、昔と現在の生活の変化によって、里山の環境がどのように変化してきたのか学びました。そして、里山を守るためにはどのようにすればよいかを考えました。

次に里山に入って、講師の指導のもと、ノコギリの使い方、伐採の仕方を学び、常緑樹の伐採体験をしました。伐採した木は30cmの長さに切りそろえ、自然の家の野外炊事で使用する薪にしました。

この活動を通して、子どもたちは里山保全の大切さについて、理解を深めることができました。

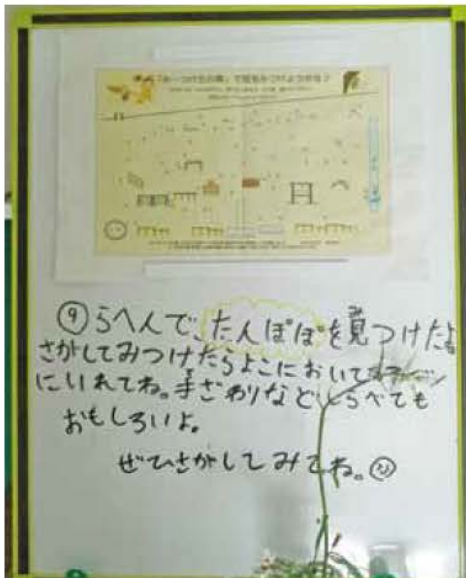
### プログラム概要

内容	・ 里山のお話 ・ 伐採体験
時間	2～3 時間
場所	四日市市少年自然の家
対象	海蔵小学校 5 年生 145 人 泊山小学校 5 年生 94 人 三重西小学校 5 年生 59 人 笹川西小学校 5 年生 53 人 中央小学校 5 年生 37 人 橋北小学校 5 年生 36 人 橋北中学校 1 年生 35 人 塩浜中学校 1 年生 33 人
講師	・ 桐生定巳氏 ・ 四日市市少年自然の家 職員

# 03

## 「み一つけたの森」で何を見つけようかな？

四日市市立塩浜小学校



環境委員会の活動



6年生が樹木の葉についてまとめる



ネイチャービンゴに取り組む2年生



4・6年生が樹木にネームプレートをつける

### ねらい

- ・「み一つけたの森」「ゆめと一ぶ」周辺の樹木・草花・そこに集まる虫などに親しみ、学習活動に取り入れることによって、身近な自然環境に関心を持つ
- ・私たちの生活と森林の結びつきを理解し、生活の中に取り入れ活用しようとする態度を育てる

### 取組内容

6年生が講師から樹木についての授業を受けて、森に入ってそれぞれの樹木の名前を覚え、葉を採集しました。

採集した葉を押し葉にし、名前や特徴を調べ1枚の用紙にまとめ、パウチをして保存しました。

4年生は学校林の樹木のネームプレートづくりをしました。

6年生がガイドをし4年生に説明しながら、4年生が作ったネームプレートと一緒につける活動をしました。

環境委員会などが中心となり、「み一つけたの森」で見つけたことを紹介したり、クイズを出したり、ネイチャービンゴなどを作ったりして、全校児童がなるべく学校林に足を運ぶように工夫することにより、「み一つけたの森」で遊ぶ児童が増えました。放課後などには学童の児童もよく遊んでいます。

ビンゴが完成したら校長室を訪ねて、「ここにあったよ」「〇〇さんが居場所を知っていたよ」など話を聞きながら、ビンゴの答え合わせするようになって、「次のビンゴいつかなあ」と楽しみにする児童の様子がみられるようになりました。

### プログラム概要

内容	・樹木のお話 ・樹名板作り ・ネイチャービンゴゲーム
時間	6年生 4時間（理科） 4年生 4時間（図工） 4・6年生 2時間（理科）
場所	教室、図工室、学校林
対象	6年生 26人 4年生と6年生 52人 全校児童 178人
講師	桐生定巳氏
備考	「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用した市事業



# 04

## 緑化活動を通して森のはたらきについて学ぼう

鈴鹿市立加佐登かきど小学校



森林のはたらきを学習中



直径を計ってみよう



ハナミズキを植えよう



植えた木にはタグを付けて

### ねらい

- ・ 県作成の副読本を利用し、森林に対する理解を深める
- ・ 公園の木で二酸化炭素の固定量を測ることにより、森林のはたらきを学ぶ
- ・ 緑化活動を通じて、市内主要産業の植木について興味を持ってもらう

### 取組内容

#### 【森林のはたらきに関する講座】

「みえ森と緑の県民税」を活用し作成された副読本「三重の森林とわたしたちの暮らし」を使用して、森のはたらきについて説明を受けました。また、副読本を活用し、木の二酸化炭素の固定量について学びました。

#### 【芝張り、植樹】

「緑と花の公園」として、市民の憩いの場となっている鈴鹿フラワーパークにおいて、鈴鹿市内の植木生産者で構成された「鈴鹿市植木振興会」を講師にむかえ、芝張りと植樹を体験しました。〔芝：230㎡ 植樹：ハナミズキ（赤）3本〕

### プログラム概要

内容	・ 森のお話 ・ 植樹体験
時間	1時間
場所	鈴鹿フラワーパーク
対象	5年生 72人
講師	鈴鹿市植木振興会
備考	「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用した市事業

# 05

## 木のあたたかみを感じよう ～カホン作り～

鈴鹿市立椿小学校



### ねらい

- ・ カホン制作を通して、木のあたたかさや良さを感じる
- ・ 一つの物を自分で作り上げる達成感を感じる

### 取組内容

鈴鹿市立椿小学校では、鈴鹿市で開催される音楽会に自分たちで作った木の楽器で出場しようと、カホンを制作しました。

事前に副読本「三重の森林とわたしたちの暮らし」で森のはたらきや木材の良さについて学び、子どもたちは理解を深めてカホン作りのにぞみました。

講師からは、カンナ掛けや釘打ちのコツなど大工技術を学びながら、木のぬくもりや板目の美しさを体験しました。皆、時間内に仕上げることができ、最後にカホンの奏法も習い、上手に演奏することができました。講師と子どもたち44人のカホンの合奏は、体育館に大きく響き渡りました。



### プログラム概要

内容	・カホン作り
時間	3時間 35分 (総合的な学習の時間4限)
場所	体育館
対象	4～5年生 44人とその保護者
講師	森のせんせい：高橋一浩氏
備考	みえ森づくりサポートセンターによる森林環境教育・木育出前授業

# 06

## 森の学校屋内編 ～木材とふれあう～

亀山市立亀山東小学校、<sup>ひる ぎ</sup>昼生小学校、<sup>のぼり</sup>野登小学校



### ねらい

- ・市内の森林や木材について学び、森林や緑を大切に思う心を育む
- ・市内産の間伐材を使用した木工製作を通して、木とふれあい、児童全員で協力して作製する



### 取組内容

亀山市では、「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用して、市内の小中学校を対象に、市内産の間伐材を使用した木工教室『森の学校屋内編「木とふれあう」』を27年度から開催しています。今年度は小学校3校で開催しました。

授業のはじめに、講師からのお話と、亀山の森を紹介するDVDを観て、市内の森林や林業の現状について、また、森林のはたらきを健全に保つためには間伐が必要なことなどを学びました。

その後、木工製作では、市内産の間伐材を使用した、本立てや水槽用の台、展示用テーブルなど、各校の用途に合わせた木工製品を、金づちを使って釘打ちをし、児童全員で協力しながら組み立てました。

間伐材を使用する意義を学ぶだけでなく、子どもたちが直接木にふれることで、木のぬくもりを感じ、物を作ることの楽しさを再認識する機会となりました。

### プログラム概要

内容	・ 亀山市の森林、林業のお話 ・ 木工製作
時間	1時間30分(2限)
場所	各小学校の図工室
対象	亀山東小学校 3年生 81名 昼生小学校 5年生 5名、6年生 16名 野登小学校 5年生 16名、6年生 14名
講師	亀山木材産業協同組合 亀山市環境産業部森林林業室 職員
備考	「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用した市事業「森と木材のふれあい事業」

# 07

## 木に親しみ、木を楽しもう

～マイ箸作り・楽器遊び、滑車体験・積木遊び、丸太切り・コースター作り～

津市立南立誠小学校、北立誠小学校

【南立誠小学校】



【北立誠小学校】



### ねらい

- ・ 木の特性を知り、親しみ、木の良さを感じる
- ・ 間伐材や地域の木を使うことを正しく理解する
- ・ 日用品を手作りすることで木製品に愛着を持つとともに長く使用できる特性を知る

### 取組内容

津市立南立誠小学校、北立誠小学校では、PTAの学年活動として、木工や積木遊びなど木にかかわる木育体験をしました。

講師が用意した「マイ箸作り&楽器遊び」「滑車体験&積木遊び」「丸太切り&コースター作り」の3つのコーナーを順番に回って体験しました。

マイ箸作りでは、材料のスギのお話や使った後の手入れの仕方を聞きました。

コースター作りでは、丸太切りでノコギリの扱い方を学び、子どもたちは木の香りを楽しみながら、一生懸命磨きました。

楽器遊びでは、樹種の硬さの違いで音階が成立することを学び、滑車体験では丸太の重量の変化に驚き、不思議がったりおもしろがったりしていました。

最後に皆で森のお話を聞き、講師から県内の森林の状況や林業の現状についてなどのお話があり、森林の役割や木を使うことが森を元気にすることを学びました。

### プログラム概要

内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マイ箸作り</li> <li>・ 楽器遊び</li> <li>・ 滑車体験</li> <li>・ 積木遊び</li> <li>・ 丸太切りとコースター作り</li> <li>・ 森のお話</li> </ul>
時間	1時間35分（PTA学年活動2限）
場所	体育館
対象	南立誠小学校 3年生65人とその保護者 北立誠小学校 2年生88人とその保護者
講師	森のせんせい：NPO法人もりずむ
備考	みえ森づくりサポートセンターによる森林環境教育・木育出前授業

# 08

## 三重の木でものづくり ～卒業記念フォトスタンド作り～

津市立櫛形小学校



### ねらい

- ・ 森のはたらきを理解し、木を活用することの大切さを知る
- ・ フォトスタンド作りを通して、ものづくりの楽しさ、木の良さや特徴を知る

### 取組内容

津市立櫛形小学校では、PTA学年活動として、卒業記念のフォトスタンドを保護者と一緒に作りました。

まず、講師から森のお話を聞き、森のはたらきや木を活用することの大切さを学びました。

そして、校庭で事前に集めておいたどんぐりや花、枝葉など小学校での森の思い出を、直径30cm程のヒノキの円盤に、自分で描いた設計図をもとにして、フォトスタンドを制作していきました。

子どもたちは、どんぐりでフォトフレームを作ったり、紅葉の押し葉で彩り良くしたりと、森の素材を活かして個性豊かなフォトスタンドを仕上げました。出来映えの良さに、「森の思い出」と題して一週間学校に展示してから持ち帰ることになりました。

### プログラム概要

内容	・ 森のお話 ・ フォトスタンド作り
時間	1時間50分（特別活動2限）
場所	図工室
対象	6年生14人とその保護者
講師	森のせんせい：藤川和彦氏
備考	みえ森づくりサポートセンターによる森林環境教育・木育出前授業

# 09

## 林業体験学習 ～ぼくらの WOOD JOB!!～

津市立芸濃小学校



製材の様子を見学



人力による伐採体験



重機の動く様子を見学



重機の仕組みを間近で見学

### ねらい

- ・地域の森林整備について、専門家の方からお話を聞いたり、作業の様子を見たり、そして体験することを通して、林業についての理解を深める
- ・地域で製材をされている方から、切り出した材木を角材に加工する様子を見せていただき、林業への関心を高める

### 取組内容

はじめに、屋内において森林の仕組みや役割についての話を聞きました。森林を放置せず人間が間伐などの整備をすることで、森林が元気になり、いい木材が育つことを教えていただきました。

また、伐採後に植林をすることで、何十年後かにはまた利用できるようになるなど、未来のことを考えることの大切さも聞きました。

さらには、現在の林業が置かれている厳しい状況についても話を聞き、だからといって放っておくとますます森林が悪くなっていくため、いろいろな機会を利用して森林を守る活動をしていることをうかがいました。

次に、実際に作業されている現場で現在の作業の進め方の見学や体験をさせていただきました。

まずは、代表者がノコギリを使った人力による伐採の体験をし、かつては作業が大変だったことを実感しました。伐採した木が倒れる様子を見せていただき、「木が倒れるところを初めて見た。」と喜んでいる児童がたくさんいました。

その後、現在の重機を利用した、伐採、枝打ち、積み込み、運搬の作業の様子を見学し、効率よく安全に作業が進められていることを教えていただきました。重機の操縦席にも座らせていただき、めったにできない体験に、児童たちは大変喜んでいました。

間伐作業の後、校区内で製材業を営んで見える方に製材の様子を見せていただき、丸太が角材になっていく様子を、児童は興味深そうに見ていました。

これらの活動を通して、児童の林業に対する関心が高まりました。

### プログラム概要

内容	・森林、林業のお話 ・林業見学 ・伐採体験
時間	4時間（社会科での学習活動）
場所	雲林院福祉会館、丸一木材 津市芸濃町市場付近の山林
対象	5年生 50人
講師	森のせんせい：中勢森林組合

# 10

## 地域の産業を知ろう ～林業体験を通して～

津市立みさとの丘学園



事前学習では、古川さんに来ていただきました。スギとヒノキの違いについてのクイズの様子です。



木を育てるためには、たくさん手間と時間がかかっていることを教えていただきました。



水源の森へ実際に行き、玉切り体験や枝打ち・間伐の様子の見学をさせていただきました。

### ねらい

- ・ 地域の産業に興味を持ち、森林に対する理解を深める
- ・ 森林のはたらきを知るとともに、環境問題について考える
- ・ 実際に見たり、聞いたり、体験したりすることを通して、林業に関わる人の思いを知る

### 取組内容

津市立みさとの丘学園では、5年生が美里創造学習（独自教科）で、地元の産業である林業を取り上げ、学習を行いました。

まず、地域の方を講師に招き、森林についての授業を行いました。スギとヒノキの違いを学習したり、美里町はほとんどが森林におおわれていることを知りました。最後に、木を育てるためには、たくさん手間と時間がかかっていること、林業の仕事に携わる人は、50年後60年後の子や孫の世代に美しい環境を残すために頑張っているということを教えていただきました。

その後、水源の森に行き、玉切り体験や、枝打ち、間伐の様子を見学しました。子どもたちはノコギリを手に、興味深く玉切りに取り組みました。また、木が倒れる時の大きな音にびっくりした様子でした。

子どもたちは、実際に見たり、聞いたり、体験したりすることで、身近な産業である林業についての理解を深め、森林の大切さを学び、環境問題について考えることができました。

### プログラム概要

内容	・ 森林、林業のお話 ・ 林業見学 ・ 玉切り体験
時間	4時間（美里創造学習の時間）
場所	教室、水源の森（津市美里町長野）
対象	5年生 36人
講師	美里林業研究グループ 古川敏市氏

# 11

## 木に親しみ、木を楽しもう ～木育体験と樹木観察～

松阪市立柿野小学校



### ねらい

- ・ 遊びながら木について親しむ
- ・ 木の良さや匂いを感じ、楽しみを知る

### 取組内容

松阪市立柿野小学校は、学校の前に清流、周囲は山に囲まれた美しく豊かな自然が残る場所にあります。しかしながら、身近にある自然や木に親しむ機会は減少しています。

そういった中で木にふれて、そのあたたかみや匂い、良さなどを遊びながら感じ、親しみを持ってもらうために、1・2年生を対象に出前授業を行いました。

木のおもちゃや積木で遊ぶ「木育」では、最初に年輪や材質のお話を聞いてから遊びました。積木の大作ができるなど、子どもたちは創造力を発揮していました。

校庭の樹木観察では、葉、花、実などのお話を聞きながら興味深く観察しました。特に匂いや食べられる実に関心が集まりました。世界一大きな木の仲間のメタセコイヤが、局ヶ岳のふもとの民家で見られるなどの地元の情報や、木にはいろんな種類や特徴、はたらきがあることを体験しながら理解することができました。

### プログラム概要

内容	・ 木育 ・ 樹木観察
時間	1時間45分（生活科2限）
場所	教室、図工室
対象	1～2年生30人とその保護者
講師	森のせんせい：阪本正義氏 森のせんせい：向田恵子氏
備考	みえ森づくりサポートセンターによる森林環境教育・木育の出前授業



# 12

## 森林の体験交流学習

松阪市立香肌<sup>か はだ</sup>小学校、宮前小学校



木を倒した後の枝を切り取る作業



木の皮むき作業後に木の感触を楽しむ



木や林業についてのお話を聴く子どもたち

### ねらい

- ・ 森林の果たす役割や、飯高の山林について知る
- ・ 間伐、皮むきの作業など、林業の体験をする
- ・ 香肌小と宮前小の5・6年生の交流を深める

### 取組内容

「木や林業」についてのお話を聴くグループと「林業の体験」をするグループの2つに分かれ、前半・後半で入れ替わる形で学習を進めました。

「木や林業」についてのお話では、様々な木の種類やその特徴、使われ方、木の年輪や成長の仕方など、実際の木を手に取りながら分かりやすく説明していただきました。また、林業の果たしている役割の重要性について話していただきました。

「林業体験」では、学校の裏山で、間伐の様子を見て体験しました。チェーンソーを使った間伐の様子を見せていただき、木を倒した後は、枝をノコギリで切る体験もしました。木の皮むきの作業も見学しました。

皮をむいた後の、みずみずしくつるつるときれいな幹を実際に見て、さわる中でその感触を楽しみました。

「将来林業したいと思った人」と聞くと半分以上の児童が手を挙げるなど、キャリア教育の一環としても、危険を伴う仕事ではあるが、自然環境保全に役立つ、カッコいい仕事として子どもたちの目に映ったようです。

### プログラム概要

内容	・ 森林、林業のお話 ・ 林業見学 ・ 間伐体験
時間	2時間10分
場所	香肌小学校の学校林
対象	香肌小学校 5年 5人 6年 4人 宮前小学校 5年 11人 6年 14人
講師	上尾欽吾氏 森のせんせい：叶林業合名会社

# 13

## 小学生が創る宮川未来の森 ～林業体験～

大台町立三瀬谷小学校、宮川小学校



山の見学



間伐体験



搬出作業



市場見学

### ねらい

- ・地域の産業である林業について理解を深め、健全な山作りや環境保全への意識を高める

### 取組内容

#### 【山の見学】

人工林と自然林を森に入って比較しました。森全体の様子や動植物を観察し、木の種類で利用方法が異なることや、人工林は木の畑で、木を育てるために手入れが必要なることを学びました。

#### 【間伐体験】

ノコギリで木を倒し、皮をむく作業を体験しました。講師から、間伐の役割、環境に対するメリットなどの説明を受け、大台町にたくさんある人工林について理解を深めました。

#### 【搬出作業】

山で乾燥させた木を搬出し、市場に出荷するための加工を行いトラックに乗せました。

#### 【市場見学】

木材が競りにかけられる様子を見学し、買い手や売り手の方にインタビューをしました。市場の仕組みや木材の利用方法、木材の需要と価格の低迷など、問題点などについても学びました。

4回の授業で、林業の課題や身近にある森林が大切な資源であることなどを学習しました。

### プログラム概要

内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山の見学</li> <li>・間伐体験</li> <li>・搬出作業</li> <li>・市場見学</li> </ul>
時間	1校あたり ・山の見学 1時間40分 ・間伐体験 1時間40分 ・搬出作業 1時間40分 ・市場見学 1時間40分
場所	各学校周辺の山林、丸天木材市場
対象	三瀬谷小学校 4年生 22人 宮川小学校 4年生 12人
講師	森のせんせい：NPO法人大杉谷自然学校 森のせんせい：宮川森林組合 森下林業、丸天木材市場
備考	大台町小学生が創る宮川未来の森（間伐体験）事業

# 森林のはたらきや木材利用について考えよう

～樹名板作り～

# 14

玉城町立有田うだ小学校



## ねらい

- ・地域の森林・林業や森林のはたらき、大切さを知るとともに、県産材を活用し、材にふれて木の良さを実感する
- ・身近な校庭の木を観察して名前や特徴を知り、樹名板を掲げ、他学年に伝えることで樹木に対する興味や理解を深める

## 取組内容

5年生の社会科では、林業や森林のはたらきを学ぶ単元があります。その授業に先んじて、地域の森林や林業について学び、そのはたらきと大切さを知ること、実際に樹木を観察し、ふれながらその名前や特徴を知って興味や理解を深めること、そしてそれを他学年に伝えるために樹名板を作成して掲げることを実施しました。

まず、森のお話を聞き、森林のはたらきや木を使うことによって森林が良くなること、森の循環について学びました。

次に、校庭内の樹木53種類のうち36種類を観察しました。木の種類や特徴の多様さに子どもたちは驚きながらも熱心にメモを取り、最後に木の高さの測定方法も学びました。

その後、県産材のヒノキ材に墨で樹名と特徴を書き、それぞれの木に掲げました。

## プログラム概要

内容	・樹木観察 ・樹名板作り
時間	3時間40分（総合的な学習の時間4限）
場所	教室、校庭
対象	5年生29人
講師	森のせんせい：末良学氏 森のせんせい：森林環境教育機構
備考	みえ森づくりサポートセンターによる森林環境教育・木育出前授業

# 15

## 木で作ってみよう！

～キーホルダー作り、丸太切りとコースター作り体験～

南伊勢町立南島西小学校



### ねらい

- ・ 森林のはたらきや木の成長する仕組みを知る
- ・ 木にふれて、加工の容易さを知る
- ・ 自分で作り上げる達成感を感じる

### 取組内容

南伊勢町立南島西小学校では、剪定枝を活用したキーホルダー作りと丸太切り・コースター作り体験を実施しました。

はじめに講師から森のお話を聞いて、森林には木の種類が多く、色々な生きものが住んでいることや、木が二酸化炭素を吸収し、炭素をたくわえて成長すること、木で作られたものを使うことで炭素を固定し続けられることなどを学び、森林のはたらきと木の成長の仕組みについて理解を深めました。

実習では、1～2年生は、学校にある剪定枝を輪切りにした円盤を材料に、サンドペーパーで表面を磨き、絵や文字を描いて仕上げ、キーホルダーを作りました。

5年生はスギの丸太を切って円盤を作り、サンドペーパーで表面を磨き、絵や文字を描いてコースターを完成させました。

子どもたちは木の質感や香り、加工することの楽しさなどを体験しました。



### プログラム概要

内容	・ 森のお話 ・ キーホルダー作り ・ 丸太切りとコースター作り
時間	1～2年生 1時間50分（2限） 5年生 1時間40分（2限）
場所	図工室
対象	1～2年生 24人 5年生 14人
講師	森のせんせい：いせしま森林組合
備考	「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用した町事業「森林環境教育事業」

# 16

## 森っこ遠足 ～森林公園で学校の樹木の名札を作ろう～

伊賀市立神戸かんべ小学校



講師の案内で公園内を散策して、自然のことについていろいろ話を聞きました。



コテージに帰って樹木の名札作りをしました。葉っぱの形に切った板をサンドペーパーで磨いて、焼きごてで名前を書いて完成です。



お昼休みは、公園内で一生懸命遊びました。草や土のにおいをする子どもになりました。



学校に帰ってから作ってきた名札をマイツリーに取り付けました。木が弱らないようにシュロの紐を使いました。

### ねらい

- ・ 自然観察及び木工により、森の自然にふれ、森林環境への興味と関心を深める

### 取組内容

伊賀市立神戸小学校の1年生から4年生の子どもたちが、三重県上野森林公園を散策し、自然観察をしました。その後、学校の樹木名札を作成しました。

自然観察や樹木の名札作りを通して、公園内の自然や材木にふれることで、これまで木や森に関心を持たなかった子どもたちが、自然のおもしろさに気づき、植物や森林を大切にしようとする気持ちが芽生えました。

さらに、今後の学校生活でも、自分で作った名札のついたマイツリーを継続して観察するなど、樹木を大切に思う気持ちの育成につながりました。

### プログラム概要

内容	・ 自然観察 ・ 樹木の名札作り
時間	4時間
場所	三重県上野森林公園
対象	1～4年生 33人
講師	森のせんせい：三重県上野森林公園
備考	「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用した市事業「伊賀の森っこ育成推進事業」

# 17

## 学校林わくわくプロジェクト ～コモコモ森の発見隊～

名張市立薦原小学校



森のお話



製材所見学



間伐の見学、丸太切り体験



木工体験

### ねらい

- ・ 学校林での体験的な活動により、森林に対する理解を深める
- ・ 森林の良さを体感するとともに、木工体験を通して木材の利用について考える

### 取組内容

名張市立薦原小学校では、5年生の社会科の産業学習で林業を学習しています。教室の中の学習だけでなく、森林環境教育として近くにある学校林で、森のお話を聞き、間伐見学や丸太切りなどの体験的な活動に取り組んでいます。

また、学校林から搬出された木を地域の製材所で加工し、糸鋸を使った木工体験も行っています。

#### 【森のお話、間伐の見学、丸太切り体験】

講師から広葉樹と針葉樹の違いや森林の役割、間伐の大切さなどを教えていただきました。その後、地域の方々による間伐を見学し、丸太切りも体験しました。

#### 【製材所見学】

地域の製材所を訪ね、大きな木が柱や板になって行く工程を見せてもらいました。また、実際の材木を見ながら、加工された木材がどのように利用されているかや、人工林と天然林で育った木の違いも教えていただきました。

#### 【木工体験】

製材していただいた間伐材を使って、講師に安全な糸鋸の使い方を教えてもらった後、一人ひとりがアイデアを活かした「世界に一つだけの鍋敷き」を制作しました。

学校林での様々な体験活動や見学を通して、日本の林業についての理解を深め、木材を活かす生活について考え合うことができました。

子どもたちは初めて入る学校林に興味を持ち、協力しながら意欲的に学習に取り組みました。そして、森林の良さを体感し、木材の利用についても考えながら学習を進めることができました。

### プログラム概要

内容	・ 森のお話、間伐の見学、丸太切り体験 ・ 製材所見学 ・ 木工体験
時間	5時間（総合的な学習の時間2時間、社会科1時間、図工科2時間）
場所	学校林、製材所、図工室
対象	5年生 23人
講師	森のせんせい：菊岡哲氏 植田林業 みえ森づくりサポートセンター
備考	「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用した市事業「学校林整備事業」

# 18

## 里山の大切さを知る ～ウォークラリーで学ぶ里山～

名張市立桔梗が丘南小学校



地域学習の開会式



里山の木の利用の説明を聞く



丸太切り体験



クイズの解答中

### ねらい

- ・ウォークラリーとクイズで里山の大切さを知る
- ・ウォークラリーのグループで仲間意識を養う

### 取組内容

学校教育の一環として実施し、縦割り班のグループで、ウォークラリーを実施することで、4～6年生の仲間意識を養うことができました。

また、ポイントでは森林環境教育を題材にしたクイズを実施しました。

身近な「東山ふれあいの森」で活動することで、里山を守ろうとする意識が高められ、子ども達の感想では、「地域学習は楽しかった。」「歩くのは疲れたけれど、きれいな景色が見られてよかった。」「きれいな水が流れていたり、木がたくさんあって涼しかった。」という自然に十分親しんで楽しく学習できた様子でした。

森林環境教育に関するクイズに答えることで、森林や里山の大切さを、実体験を通じて実感できました。

### プログラム概要

内容	・里山観察 ・丸太切り体験 ・ウォークラリーと森のクイズ
時間	3時間（地域学習）
場所	名張市東山ふれあいの森
対象	4～6年生120人とその保護者
講師	加納康嗣氏 上田博氏
備考	「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用した市事業「森林環境教育推進事業」

# 19

## 命の山から学ぶ ～植樹、山と海の恵み～

紀北町立矢口小学校



ねらい.....

- ・ 植樹体験を通して地域の林業や森林についての学習を深める
- ・ 森林と水、海の関係を知り、自然環境を大切にする心を育成する

取組内容.....

植樹体験では、はじめに学校において講師から、「地域の林業について」のお話を聞き、地域の人々が自然（山、森林）に働きかけて、木を育て、材木や炭などを産出してきたことや、良い木を育てたり、能率的に作業をしたりするための工夫などについて学びました。

その後、植樹場所に移動し、講師に教えてもらいながら、ヒノキ、コウゾ、ミツマタ（合計500本）を植樹しました。子どもたちは、クワやスコップの扱いに苦労しながらも徐々に慣れ、一生懸命に穴を掘って植樹しました。

植樹後は、山から湾内のアオサ養殖場を眺め、きれいな水が豊かな海を作り出していることを実感しました。

矢口小学校では、平成25年度より年間を通じて「植樹」「林業」「炭焼き」「アオサ養殖」「海水塩づくり」などについての体験学習を学年の発達段階に応じて行っており、平成29年12月には、5・6年生が「みえ子ども森の学びサミット」において取組を発表しました。

プログラム概要

講師	・ 地域の森林・林業のお話 ・ 植樹活動
時間	2時間30分
場所	紀北町引本浦字網代地内の町有林
対象	1～6年生20人
講師	森林組合おわせ 紀北町農林水産課 職員
備考	「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用した町事業「森林環境教育活動支援事業」



# 森のはたらきを知ろう、県産材を使おう

～マイ箸作り体験～

# 20

津市立一身田中学校、南が丘中学校

【一身田中学校】



【南が丘中学校】



## ねらい

- ・ 県内の森林・林業の現状や森林のはたらき、大切さを知る
- ・ 県産材を使うことの意義を知る
- ・ 県産材を使ってマイ箸作りを行い、木の特性を知り、良さを感じ、親しむ

## 取組内容

津市内の中学校の技術科では、安全・安心な生活という視点を取り入れた授業を行っています。

例えば、生産者としての社会的責任（CSR）や製作材料に地元の木材を利用することが、地域活性化や森林の再生につながることを学んだ上で、制作を行っています。

はじめに、森林の有する地球温暖化防止や土砂崩壊防止などの公益的機能についてのお話を聞き、森林の役割や森林を守ることの大切さについて学びました。特に人工林では、間伐が必要であり、県産材を使うことが森を元気にすることを学びました。

その後、県産材のスギの間伐材を使用した角材を小刀で削り、サンドペーパーで磨いてマイ箸作りをしました。

初めて小刀を使う生徒が多かったのですが、講師から使い方を教わり、真剣に取り組みました。削りながら木の質感や香りも楽しみ、森林や木に親しみました。

## プログラム概要

内容	・ 森林、林業のお話 ・ マイ箸作り
時間	一身田中学校 4時間10分(技術科1限×5クラスで実施。 1クラス当り50分) 南が丘中学校 3時間20分(技術科1限×4クラスで実施。 1クラス当り50分)
場所	木工室
対象	一身田中学校 1年生 171人 南が丘中学校 1年生 129人
講師	森のせんせい：中勢森林組合
備考	みえ森づくりサポートセンターによる森林環境教育・木育出前授業

# 21

## 森林をイメージしよう ～木育バスのラッピングデザイン制作～

三重県立飯野高等学校



完成した木育バス



県職員による「みえ森と緑の県民税」などのお話



ツバキの木、葉などの観察



森のお話を聞く

### ねらい

- ・ 木と人との長年の関わりを知る
- ・ 森林のはたらきとみんなで森林づくりを支えていくことの大事さを理解する
- ・ 若者の自由で豊かな発想や知恵、感性で森林のイメージを捉え、デザインで表現する

### 取組内容

県立飯野高等学校応用デザイン科では、1年生で美術とデザインの基礎学習をしたのち、2年生から専門的な学習を行い、個性の伸長と創造力豊かな心を持つ人材を育成することを目的としています。

今回は、三重県が「みえ森と緑の県民税」を活用し、木の良さや文化などに理解を深め、木に親しむイベント「ミエトイ・キャラバン」用の木製遊具を運搬する車両として「木育バス」の運用を開始することになりました。

その、県内各地を走行する木育バスのラッピングデザインを生徒たちがすることになりました。

まず、県の税事業についての話を聞いてその意義・有用性について理解を深め、その後の森のお話では、ツバキの木を例にして人とのつながりや木の特徴を知り、そこから森のはたらき、森林と人や社会の相関関係についても理解を深めました。

最後に、実際ラッピングデザインするバスを見学し、デザインを3班になって3案考え一つにまとめて、木育バスらしいデザインが仕上がりました。

### プログラム概要

内容	・ 森林、林業のお話 ・ 木育バスのデザイン制作
時間	55分
場所	CG教室
対象	応用デザイン科コンピューターグラフィックスコース3年生14人
講師	三重県農林水産部みどり共生推進課 職員 みえ森づくりサポートセンター
備考	みえ森づくりサポートセンターによる森林環境教育・木育出前授業

# 22

## 木のおもちゃで遊んで・作って・学ぼう！

長島中部学童保育所レインボー、放課後児童クラブレインボー駅前

【長島中部学童保育所レインボー】



【放課後児童クラブレインボー駅前】



### ねらい

- ・ 県内の林業についての理解を深め、山の仕事について考える機会を提供する
- ・ 木にふれることにより木の良さを感じ、県産材利用拡大の啓発活動を行う

### 取組内容

桑名市内の2つの放課後児童クラブでは、会場内に3つのテーマで体験コーナーを設けて学習することにより、体験を通じて、木の温もりを肌で感じ、木とふれあうことの楽しさを感じるとともに森林を守ることの大切さについて学習しました。

「学ぼう」の木と森のクイズでは、クイズを通して、林業、木や森について学びました。

「遊ぼう」では、小学1～6年生の子どもたちが木製ボールプール「もりぼーる」や積木、木のおもちゃにふれて、木の香りなどを楽しみました。

「作ろう」の丸太切り体験では、講師からノコギリの使い方を教わり、丸太切りの後、切り取った円盤をサンドペーパーで磨いて絵付けをしてコースター作りを行いました。

### プログラム概要

内容	・ 森と木のクイズ ・ 丸太切りとコースター作り
時間	2時間
場所	長島中部学童保育所 放課後児童クラブレインボー駅前
対象	長島中部学童保育所 小学生 40人 放課後児童クラブレインボー駅前 小学生 20人
講師	森のせんせい：裏川照雄氏 森のせんせい：金津順一氏 三重県四日市農林事務所 職員
備考	みえ森づくりサポートセンターによる森林環境教育・木育出前授業

# 23

## 自分の箸を作ろう！ ～マイ箸作り体験～

大安中央児童センター



### ねらい

- ・ 森林のはたらきと三重県の木のことを学ぶ
- ・ 自分の箸を作り、森を身近に感じる

### 取組内容

いなべ市大安中央児童センターでは、夏休みを利用して小学1～6年生30人がマイ箸作り体験をしました。

はじめに、講師から森林と林業のお話を聞きました。3年生以上でないと理解が難しいところもありましたが、森林のはたらきや大切さ、木を使うことが森林を元気にすることを学びました。

箸作りでは、手の大きさに合わせて長さをノコギリで調整し、サンドペーパーで磨いてなめらかにし、絵付けをしました。

最後に色紙の箸入れに収め、家に持ち帰りました。家族に見せてから長く愛用してくれるそうです。

### プログラム概要

内容	・ 森のお話 ・ マイ箸作り
時間	1時間30分
場所	児童センター
対象	小学生30人
講師	森のせんせい：渡部壮一郎氏
備考	みえ森づくりサポートセンターによる森林環境教育・木育出前授業

# 24

## 木のおもちゃで遊んで・作って・学ぼう！

川越町おひさま児童館



### ねらい

- ・ 県内の林業についての理解を深め、山の仕事について考える機会を提供する
- ・ 木にふれることにより木の良さを感じ、県産材利用拡大の啓発活動を行う

### 取組内容

川越町おひさま児童館では、児童館内に3つのテーマで体験コーナーを設け、体験を通じて木育を学びました。

「学んでコーナー」では、木と森のクイズを通じて、森林・林業について学び、森林のはたらきや役割、森林を守る大切さを理解しました。

「遊んでコーナー」では、木製ボールプール「もりぼーる」や、木のおもちゃにふれて、木の香りなどを楽しみました。

「作ってコーナー」では、講師からノコギリの使い方を教わり、丸太切りを行った後、切り取った円盤を磨いてコースター作りを行いました。

### プログラム概要

内容	・ 森と木のクイズ ・ 丸太切りとコースター作り
時間	2時間
場所	児童館 遊戯創作室、屋外
対象	幼児・小学生100人とその保護者
講師	森のせんせい：裏川照雄氏 森のせんせい：金津順一氏 森のせんせい：館俊樹氏 三重県四日市農林事務所 職員
備考	みえ森づくりサポートセンターによる森林環境教育・木育出前授業

# 25

## 身近な植物を使った草木染め体験

くまのっ子学童クラブ、みはまっ子学童クラブ



### ねらい

- ・ 草木染め体験を通して、身近な樹木とふれあい、親しむ機会にする
- ・ 自然素材のおもしろさや楽しさ、豊かさを感じる

### 取組内容

熊野市と御浜町の2つの学童クラブでは、室内での活動にとどまらず、普段から「リトルファーマーズ農場」という山の中にある農場で、様々な自然や生きものとふれあいながら、学童保育を行っています。今回、その農場に生えているピワなどを活用し、草木染め体験を行いました。

まず事前準備として、子どもたちはピワの葉を摘んで細かく刻み、染料が出やすいよう準備しました。当日、子どもたちはハンカチをピー玉や割り箸を使い輪ゴムで絞って作る模様付けと、染料に浸して染める体験を行いました。途中で講師から手順を教わりつつ、染まるのを待つ間はピワにまつわる話を聞いたり、葉っぱを使ったじゃんけんなどをして楽しみました。

自然の染料から生まれる色合いと、それぞれの絞り方によるオリジナルな柄の草木染めが出来上がり、樹木の不思議さを感じたり、作ることの楽しさを体験する取組となりました。

### プログラム概要

内容	・ 森のお話 ・ 草木染め体験
時間	3時間
場所	リトルファーマーズ農場
対象	小学生 38人
講師	森のせんせい：奥川次郎氏
備考	みえ森づくりサポートセンターによる森林環境教育・木育出前授業

## 森林環境教育・木育のサポート

学校などで取り組まれる森林環境教育や木育の活動にかかるサポートを行います。

### ◆主なサポート内容

- 授業を行うにあたっての相談対応
- 授業の組立やプログラム作成のお手伝い
- 指導者「森のせんせい」の紹介

「出前授業」 これから森林環境教育や木育を始めたいという方を対象として、出前授業を実施しています。はじめの一歩にご活用ください。

## 指導者の育成

各種講座を通じて、森林環境教育・木育の指導者の養成や、「森のせんせい」のスキルアップを図ります。

### ◆講座の内容

- 「森林環境教育指導者養成講座」の開催
- 「森のせんせいスキルアップ講座」の開催
- 教員を対象とした「学校教職員森林環境教育指導者養成講座」の開催
- 「木育インストラクター養成講座」の開催



## 森づくりのつながり

森のせんせいのネットワーク構築や座談会の開催、森林環境教育や木育、森づくり活動を行う団体との連携を行います。

# みえ森づくりサポートセンター

## 森づくり活動のバックアップ

森づくり活動団体や、これから森づくりを始めたい方を対象に、技術力の向上を図る講座を行います。

### ◆講習の内容

- 「森づくり活動初心者講習」の開催
- 「森づくり活動スキルアップ講習」の開催
- 刈払機、チェーンソー安全衛生講習の開催



## 物品や資機材の貸出

木育に活用できる遊具や、森づくり活動に必要な資機材の貸出を行います。

### ◆貸出物品の一例

- 三重の木のボールプール「もりぼーる」
- ミエトイ・キッズスペース
- 各種測量用具
- ヘルメット、チャップスなどの安全装備

## イベントの開催

広く森林環境教育・木育の取組を伝えるための「場」として、また指導者の実践の場として、各種イベントを開催します。

### ◆イベントの一例

- ミエトイ・キャラバン
- 毎年秋に開催する「森の学校」
- 子ども写真教室 ● みえの森フォトコンテスト

## 「ミエトイ・キャラバン」

木育を多くの方に体験いただくために、三重の木を使った木製遊具と一緒に「ミエトイ・キャラバン」を行っています。スケジュールはホームページをご覧ください。





表紙の写真「おばけカシのき」  
第4回みえの森フォトコンテスト  
小学生以下の部 優秀賞

**【発行】** 三重県農林水産部 みどり共生推進課

**【編集・お問い合わせ】**

みえ森づくりサポートセンター

三重県津市白山町二本木 3769-1 三重県林業研究所 交流館内

TEL:059-261-1223 FAX:059-261-4153 mail:miemori@zc.ztv.ne.jp

web <http://www.zc.ztv.ne.jp/miemori/> facebook <https://www.facebook.com/miemoridukuri/>

この事例集は、「みえ森と緑の県民税」を活用して作成しました。